

土石流・流木災害を未然に防ぐ

透過型鋼製スリットダムA型

優れたスリット機能の維持・管理性

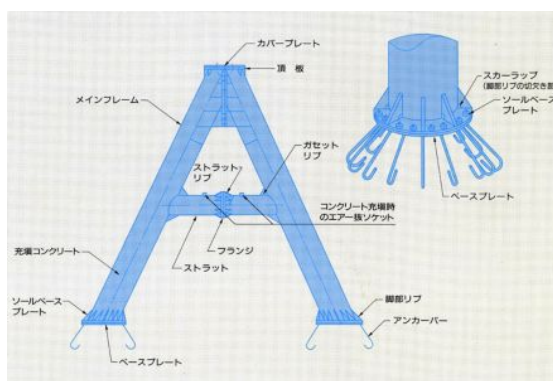
- 横梁のないスリット構造であるため、捕捉した流木・礫の除去作業が容易です。

均一な品質と優れた省力化施工

- 中央部において左右2分割されるため、現場への搬入が容易であり、現場ではボルト接合作業のみで組立でき、省力化・工期の短縮が図れます。

高い安全性と優れた経済性

- 内部にコンクリートを充填し耐衝撃性を高めた構造であり、流木・巨礫の衝突による局部座屈に対しても十分な安全な構造となっています。また、構造の軽量化・プレファブ化を追求していますので経済的にも優れた構造となっています。



透過型鋼製スリットダムB型

面外荷重に対しても強度を有します

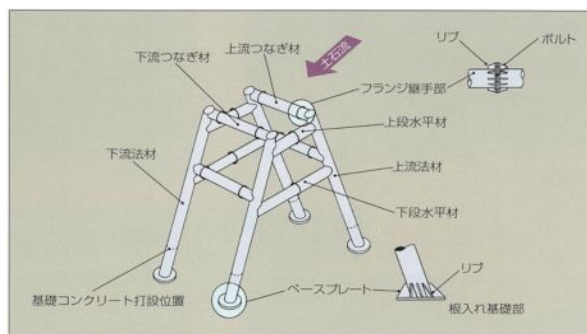
- 鋼製スリットダムB型は立体構造ですので、面外荷重に対しても強度があり安定性があります。

堆積後の除石メンテナンスが容易です

- 独立したユニットを現場に合った間隔で設置しますので、土石流を捕捉した後に堆積した礫・土砂は容易に除去できます。

流木も効果的に捕捉します

- 土石流と一緒に流下する流木を捕捉する効果が極めて高い事が実験で確認されています。



日鐵建材工業株式会社



アルコ株式会社

〒514-0004 三重県津市栄町4丁目247番地
TEL:050-3386-8171 FAX:059-213-8880

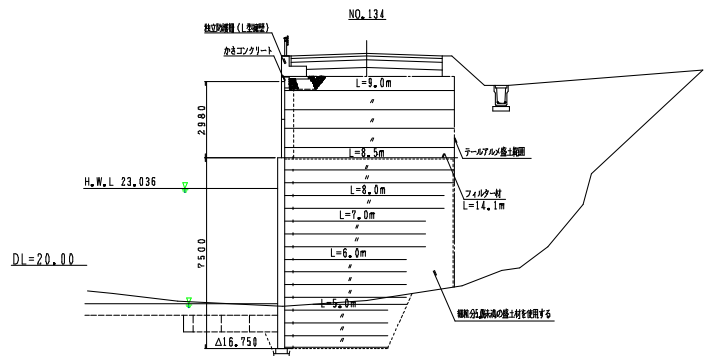
JFE商事が提案するテールアルメ工法使用例

1. 河川テールアルメ工法

日本列島は山あり谷あり、そして河川も多く存在します。道路自体も河川沿いに設置されることも多い中、河川沿いの道路の拡幅や河川の災害復旧などに一役買っているのが「河川テールアルメ」です。
水辺での設計が認められている唯一の補強土壁工法だからこそ可能なのです。

<主な特徴>

- ・ 水衝部については、水位部分を350mmRC壁面（護岸ブロックと同等）にてカーウォールタイプで構築
- ・ 盛土材は水位部分を透水性の良い碎石、水位以上の部分は砂質土を使用
- ・ 補強材（ストリップ）の腐食代は、2.0mm考慮。
- ・ 国道360号（岐阜県飛騨市宮川村）にて実績あり



2. 岩ズリを用いたテールアルメ工法

補強土壁工法の生命線とも言える盛土材。施工現場からはいろいろな土質のものが出てきますが、トンネルや岩部より出る「礫系」についても薄くてなじみの良い鋼製の補強材の方が他補強土工法の補強材よりもむしろ適しています。



JFE商事株式会社

テールアルメ営業部 中部営業室



アルコ株式会社

〒514-0004 三重県津市栄町4丁目247番地
TEL:050-3386-8171 FAX:059-213-8880